

焼岳の火山活動解説資料（平成 29 年 9 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

8月上旬に、規模は小さいながらも低周波地震とともに噴気が観測されたことから、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～2、図3 - 、図5）

北陸地方整備局が設置している焼岳北監視カメラ（焼岳の北北西約4km）による観測で、26日及び27日に黒谷火口で高さ30m程度の白色の噴気を観測しました。黒谷火口で噴気を観測したのは8月10日以来です。

焼岳北監視カメラによる観測では、北峰付近の噴気孔からの噴気の高さは概ね60m以下で経過しています。また、同局設置の焼岳南西斜面監視カメラ（焼岳の西南西約2.5km）による観測では、岩坪谷上部の噴気孔からの噴気の高さは概ね60m以下で経過しています。

・地震や微動の発生状況（図3 - 、図4）

9月4日に空振を伴う火山性地震を観測しましたが、8月10日に観測したような白色噴気は認められませんでした。火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しています。なお、30日0時56分及び5時32分に山頂の西北西約8kmのところを震源とする構造性地震が発生し、高山市奥飛騨温泉郷栃尾で震度3および2を観測しましたが、火山活動に特段の変化はありません。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図3 - ~ 、図5）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成29年10月分）は平成29年11月9日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『2万5千分1地形図』『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。



図1 焼岳 黒谷火口からの噴気の様相
(9月26日17時30分頃 焼岳北監視カメラ)

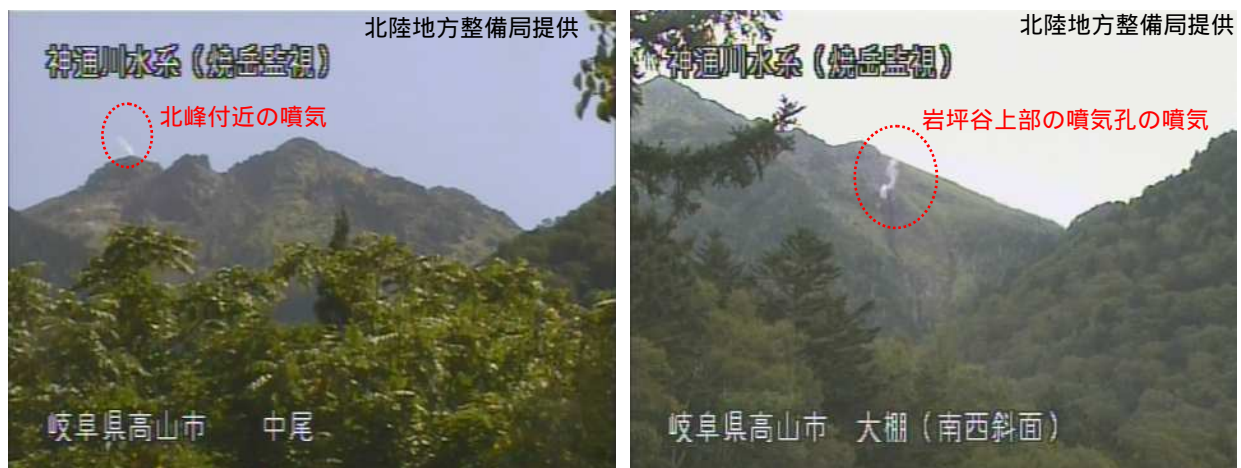


図2 焼岳 山頂部及び南西斜面の様相
(左図: 9月13日 焼岳北監視カメラ、右図: 9月11日 焼岳南西斜面監視カメラ)

【地震の計数基準の変遷】開始	2010年8月2日~2010年9月21日	中尾振幅0.5 μ m/s以上、S-P2秒以内
変更	2010年9月22日~2011年3月10日	中尾振幅0.5 μ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2011年3月11日~2013年9月30日	中尾振幅3.0 μ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2013年10月1日~	中尾振幅2.0 μ m/s以上、S-P1秒以内

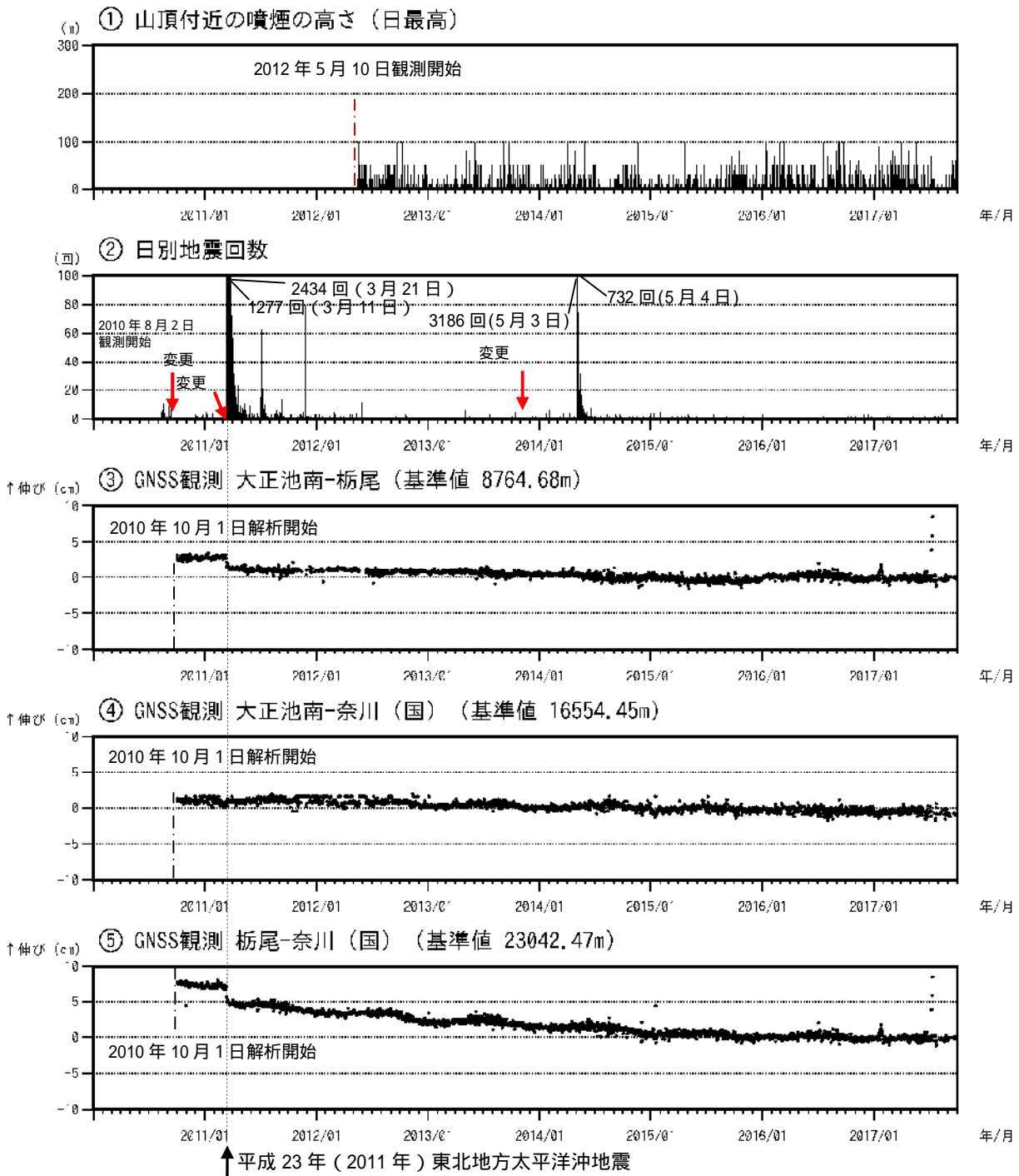


図3 焼岳 火山活動経過図(2010年8月2日~2017年9月30日)

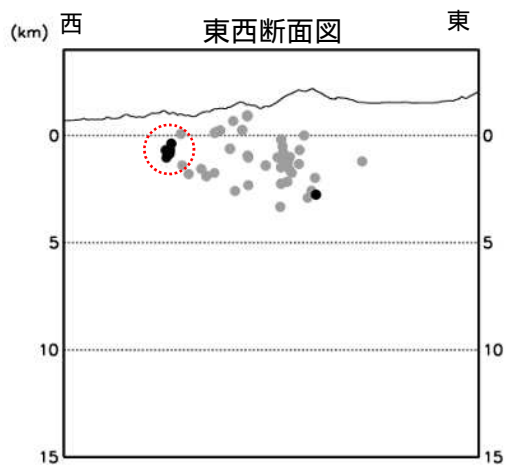
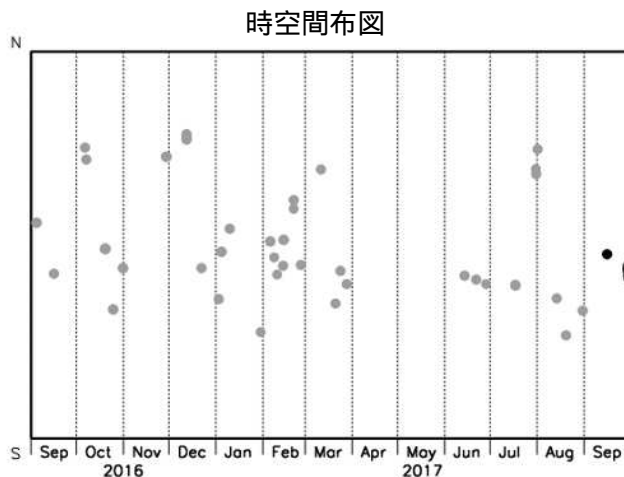
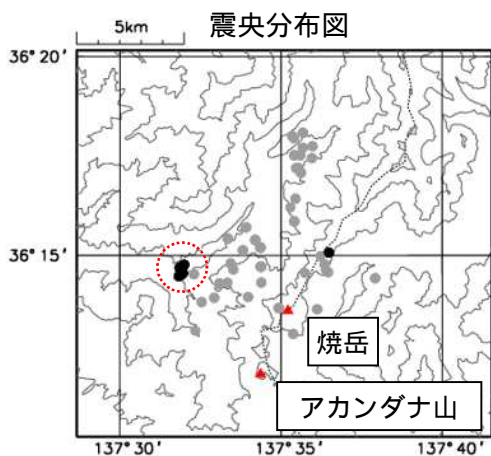
焼岳周辺の日別地震回数

2011年3月11日に発生した「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」以降、焼岳周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。2014年5月3日から4日にかけてと2015年7月24日に一時的に活発化した後は低下しています。

~ GNSS連続観測による基線長変化(国):国土地理院

2011年3月11日に発生した「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の影響により、ステップ状の変化がみられます。

~ は図4のGNSS基線 ~ に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。



：2016年9月1日～2017年8月31日

：2017年9月1日～9月30日

図4 焼岳 震源分布図（2016年9月1日～2017年9月30日）

- ・火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
- ・30日に震度3～2を観測した地震の震源（上図赤丸）は焼岳山頂から西北西に約8 km 離れています。

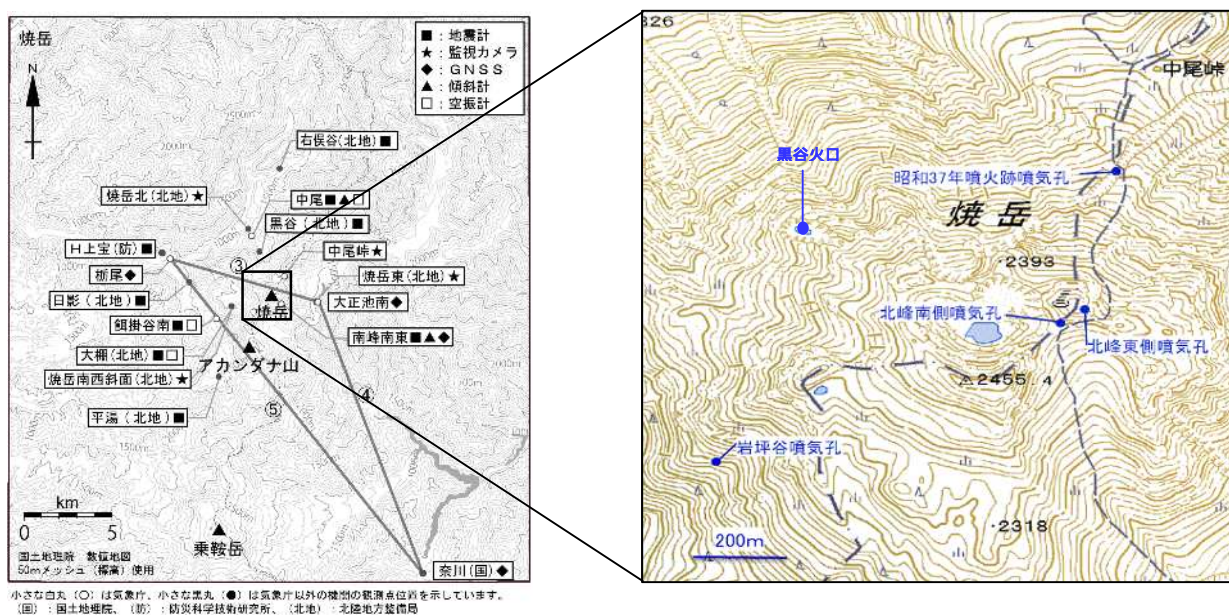


図5 焼岳 観測点配置及び噴気孔位置

・GNSS 基線 ~ は図3の ~ に対応しています。